

生ままでの医療費の無料化を継続するなど、子育て世帯の負担軽減を図ってまいります。

●安心して暮らせるまちづくりへの挑戦

○インフラ施設の安全確保

既に実施した市道及びトンネルの調査と同様、平成27年度は庁舎、ため池、下水道、農道橋の老朽化調査・耐震診断を実施いたします。

○安全・安心のための活動

地域振興会等を中心とした自主防災組織が市内一円に拡大するよう強く推進するとともに、防災資機材・備蓄物資の購入支援や防災訓練等も協力して行ってまいります。災害時に万全の体制で対応するため、女性を含めた消防団員の確保に力を入れるとともに、消防車両や防火水槽等についても、計画的に整備してまいります。いわゆるオレオレ詐欺などの特殊詐欺の被害が依然として発生しております。今後も引き続き、消費生活窓口の体制を維持してまいります。

○市民総ヘルパー構想

「生活習慣病重症化予防事業」、

は、今後の本市の農業の柱となるものであります。地元地権者や関係機関と緊密な連携をとり、着実に進めてまいりたいと考えております。

これらの「安芸高田の宝」を磨く際には、市内外におられる、本市の応援団「ふるさと応援の会」のみなさんの幅広い知見と人脈をお借りしたいと考えております。「ふるさと応援の会」は、会員数が2,200名を超え、平成26年度には関東支部を立ち上げていただき、ひろしま安芸高田神楽東京公演では、様々なご協力をいただきました。今後も、本市の外から視点を変えてご助言などをいただくことで、新たな「安芸高田市の



桑田天使神楽団「葛城山」

「若年性生活習慣病予防事業」に引き続き重点的に取り組むとともに、新たに「高血圧重症化予防対策事業」について研究し、将来、高額な医療費がかかる慢性的な症状になることを防ぐ事業に積極的に取り組んでまいります。

これらの新たな取組に、従来行ってきた介護予防活動である「ふれあいサロン」の支援や、健康づくりの支援などを組み合わせることで、健康で充実した生活と医療費抑制の両立を図ってまいります。さらに、認知症について早期に発見し、適切に対応するためのプログラムの策定にも新たに取組んでまいります。

○地域医療体制の充実

医師会、歯科医師会、地域の核病院でありますJA吉田総合病院とも連携し、救急医療体制の整備や医師等の人材確保に向けて取り組んでまいります。JA吉田総合病院の「休日・夜間救急診療所」の運営につきましても、引き続き財政支援をしてまいります。

○障害者福祉の推進

地域社会における共生の実現を図るべく、障害者福祉サービスの充実に向けた取組とともに、障害

魅力づくりを進めてまいります。

○地域の魅力の発信

設立から3年目になる「安芸高田市観光協会」に対する支援を引き続き行い、市内の観光に係る情報の取りまとめ、情報発信に力を入れるとともに、「まち歩き観光」などの新しい観光プランの確立に努めてまいります。

また、定点カメラと公衆無線LANを観光スポットに設置し、市が情報発信するだけでなく、訪問した観光客自らの観光地の情報発信を促す仕組みも取り入れるなど、市外の人々が本市に興味を持つてもらえるような市の行政情報の発信、観光情報の発信を、ホームページやソーシャルネットワークサービスを活用して積極的に行ってまいります。

○協働によるまちづくり

引き続き地域振興会の活動を支援するとともに、男女共同参画の推進や青少年の健全育成についても、関係機関・団体と連携し、施策の推進、啓発に取り組めます。また、多文化理解を進めるための市民講座、外国語教室を行うとともに、在住の外国人にとつて暮らしやすい環境とするために、日本語教室の開催、相談員・通訳員



ごみ収集の様子

者の自立支援を目的とした社会参加の促進を図るための取組についても行ってまいります。

○ごみの減量化対策

新たにECO（エコ）モデルタウンとしてさらなる資源リサイクルに取り組み地域を選定し、ごみの分類を15分制から24分制に増やす取組を試験的に行い、効果や方法について検証し、ごみの減量化をさらに推進してまいります。

●地域資源を活かしたまちづくりへの挑戦

本市は豊かな自然、独特の文

の充実に取り組めます。

○農業者の支援

「人・農地プラン」によって担い手農家等へ農地を集積し、経営強化モデル事業等によって経営力の向上を目指す農業法人の条件整備を支援してまいります。また、市とJAが共同拠出した「農業後継者育成基金」を活用し、県立農業技術大学の学費等を支給するなど、将来の農業を支える担い手の育成及び確保にも努めてまいります。

○有害鳥獣対策

シカ、イノシシ等の有害鳥獣対策・ジビエの特産化については、昨年度から設置した鳥獣被害対策実施隊、有害鳥獣捕獲班の活動により、強力に推進してまいります。

○商工業者の支援

市内に立地した企業に対する奨励金制度、今般整備した光ネットワークを活用してネットショップを開設する事業者に対する支援制度、高校生に対する地元企業への就職につながるインターンシップなどの取組を行い、地域産業の振興に努めてまいります。また、地域の消費喚起・生活支

化、バラエティに富んだ観光資源など、数多くの「宝」と「強み」があります。

本市の独特の文化である「神楽」と「毛利元就の歴史遺産」を活用した観光振興・地域振興施策に取り組む「未来創造事業」につきましましては、「神楽甲子園」や「ひろしま安芸高田神楽東京公演」が大きな反響を呼ぶなど、年を重ねるごとに着実に成果を挙げているところですが、その成果を観光客の増に繋げて、地域経済の活性化を図らなければなりません。本年1月からは、広島・成田間を結ぶ春秋航空日本との連携による神楽鑑賞ツアーを商品化し、東京圏からの誘客に注力しておりますが、今後もさらに魅力的な商品を提案し、「安芸高田の宝」を積極的に発信することが何より重要となります。

農産物もまた、本市の豊かな自然に育まれた「安芸高田の宝」であります。

これまで行ってきた「青ネギ」などの競争力のある作物の強化に加え、新たな野菜や薬草などの栽培に取り組み「こと」にしております。こうした農産物を加工し、販売まで行う6次産業化についても積極的に取り組んでまいります。

また、原山・羽佐竹地区を新たに大規模なキャベツの生産拠点とする県営の基盤整備事業について

援のため、プレミアム率30%の商品券を各世帯に行き渡るよう発行し、地域経済の活性化を図ります。

●第3次行政改革の取組

○公共施設の配置適正化

向原公民館・向原保健センターなどの老朽化した利用されていない施設の解体を行ってまいります。このほか、現在活用されていない公共施設を活用した民間事業者の支援も行ってまいります。

○受益者負担の適正化

上下水道料金の改定に向けた基本方針の策定を行ってまいります。これらにつきましましては、市民のみなさまに大きな影響を与えるものでありますので、みなさまによく情報を提供し、ご理解を得ながら進めてまいりたいと考えております。

以上、平成27年度予算編成、提案にあたりまして、私の所信の一端を申し述べさせていただきました。平成27年度は、安芸高田市の魅力をさらに磨き、発信し、「地方創生」への第一歩を踏み出す年とすることを施政方針とさせていただきます。